

＜令和2年度 一般財団法人高崎経済大学後援会事業報告＞

I 主な会議

令和2年 6月 8日 第1回通常理事会 6月19日 第1回定時評議員会（みなし決議）
令和3年 3月15日 第2回通常理事会 3月26日 第2回定時評議員会

II 事業活動の部

1 教育・研究活動助成事業 （決算額 39,972,291円）

学生団体への活動補助金交付とともに、私費外国人留学生奨学金の支給、TOEIC及び外国語検定試験成績優秀者表彰、エントリーシート・SPIテストに係る経費助成など学生個人への教育支援及び就職支援を行ったほか、教員への研究活動助成を行った。一方、海外研修事業の中止などによる未執行予算を活用し、コロナ禍における特別就職支援としてキャリアアドバイザー増員経費やリモートによる業界研究セミナー開催経費の助成を行ったほか、学生の生活支援として「学生応援チケット」の配布や大学設置の「コロナ禍学生緊急支援特別基金」への寄附を行った。

2 学生活動支援事業 （決算額 10,072,353円）

ゼミナール及び課外活動の交通手段として、マイクロバス・中型バスによるバスの送迎運行や契約保養所6ヶ所の利用助成を行うなど、学生の課外活動支援を行った。しかし、コロナ禍における学生の課外活動の自粛などにより、バスの利用は前年比32%でした。

3 福利厚生施設運営事業 （決算額 8,672,614円）

宿泊兼研修施設として、教員、学生、保護者及び卒業生が利用する「高経会館」の管理運営を行った。しかし、コロナ禍におけるリモート授業の実施などから教員の利用が減ったため、その利用は前年比36%でした。

4 文化サークル棟関連経費支出事業 （決算額 13,761,634円）

文化サークル棟建設に係る諸経費支出及び借入金利息返済を行う。完成後の施設は大学へ無償貸付。

5 支部総会運営事業 （決算額 2,240,316円）

後援会及び大学の現況報告を行うため、下記の8支部で支部総会を予定したが、新型コロナウイルスの感染拡大により、全ての支部で開催を中止した。

関東甲信越支部（高崎市） 四国支部・山陰山陽支部（高松市） 東北支部（仙台市）
東海支部（名古屋市） 北海道支部（札幌市） 近畿支部（大阪市） 北陸支部（金沢市）

III 投資活動の部 （決算額 371,179,020円）

文化サークル棟本体建設事業のほか、高経会館の備品購入を行った。また、文化サークル棟の各部室の空調設備や外構工事を行い完成後、会議室等備品（テーブル・椅子など）とともに現物寄附を行った。

IV 財務活動の部 （決算額 19,458,913円）

文化サークル棟建設事業費に充てるため、市内金融機関よりの借入及び借入金元金返済を行った。

（借入額 R1年 224,660,000円・R2年 348,000,000円、借入合計額 572,660,000円）